

リーディングプロジェクト（案）

■リーディングプロジェクトとは

「新宿区第二次環境基本計画」におけるリーディングプロジェクトとは、以下のようなものを設定します。

①本計画全体のシンボルとなるもの

5つの基本目標から展開される施策を複合的に組み合わせ、区民、事業者、行政、関係団体などの様々な主体が連携・協働して取り組むことにより、本計画全体のシンボル（象徴）や推進力となるものとして設定します。

②「新宿力」を原動力とし新宿らしさ（オリジナル性）のあるもの

新宿の強みである「新宿力」を根本的な原動力とし、新宿の環境特性や現状に合致し、相乗的な効果が期待できる新宿らしさのあるものとして設定します。

③地域・地球環境を見据え先進性のあるもの

首都東京の都庁舎がある区として、また世界一の乗降客数を誇る新宿駅を有する実質的な日本の中心都市として、区内のみならず東京都全体、日本全体にインパクトを与えるような、今後の地域・地球環境を見据え率先的に取り組むべき先進性のあるものとして設定します。

なお、リーディングプロジェクトでは、具体的な達成目標や推進手法を明確にし、進捗状況の適切な管理を行うことにより、10年の計画期間にすべてのプロジェクトが実施され、目標を達成することを目指します。

■リーディングプロジェクトの具体展開例

リーディングプロジェクトは、新宿区の“環境まちづくり”の理念に則り、下図のようなステップにより展開されるものです。

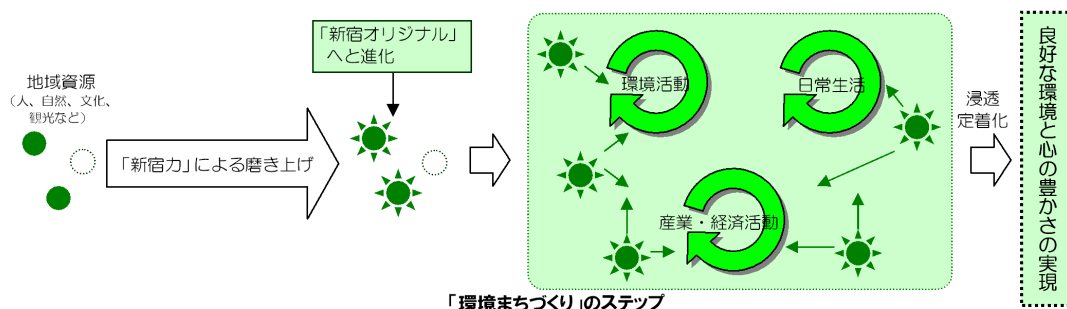
①新宿区のもつ魅力や地域資源・新宿らしさを発掘します

②環境面の視点から“新宿力”により磨きをかけ、「新宿オリジナル」（環境価値）を創造します

③それを区民・事業者などの活動に組み込み、各主体の連携・協働により展開します。

④こうした展開が浸透定着化することにより、日常生活、産業・経済活動などに相乗的な効果が期待されます（経済と環境の両輪推進、環境活動の定着化など）

以上のような展開により、目指すべき環境像である「良好な環境と心の豊かさの実現」を具現化することが期待されます。



リーディングプロジェクト（案）

| | |
|---------------------------|--|
| プロジェクト名（仮称） | エコライフ活動の拠点化（環境学習センター）と全区展開（地域ブランチの設置）プロジェクト |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習センターにおいて、区内における全てのエコライフ活動（環境保全活動）情報（団体概要や活動内容）の一元化を図る（登録制などにし、団体や活動のオフィシャル化） ・リサイクル活動センターや地域センターに地域ブランチ（支部）を設置し、地域毎の活動のサポートを図る。 ・エコライフ推進協議会やエコ事業者連絡会、各種活動団体で構成する連絡調整組織（行政兼務？）を設立し、各団体の活動方針の確認や活動報告、区の施策の進捗チェック、検証評価を行う。 |
| 地域資源・新宿らしさ | エコライフ推進協議会 |
| 活用すべき新宿力 | 環境活動における参加・協働意向の高さ |
| 対象となる主な主体 協働のあり方（主な役割） | <p>区民、事業者、NPO 団体、行政</p> <p>家庭やオフィスなどでのモデル実施、水平展開</p> <p>様々な環境活動への取り組み</p> |
| 期待される効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報や活動の一元化、透明化、見える化が図られ、区民や事業者が参画しやすく、効果的な活動が展開する。 |
| 備考 | |

「新宿力」を具体化するものに「環境活動における参加・協働」がある。「6月のエコライフ」では、区民・事業者、NPO 団体、新宿区が連携して、環境活動に取り組んでいることがよくわかる。非常に問題意識や質の高い活動ばかりである。

これからの「参加・協働」の課題は、これらの取り組みについて質を低下させず高いレベルで、いかに広げていくかである。このためには各々の活動を支えているリーダーの継続的な活動とそれを支援する仕組みを充実させる必要がある。

- 区民・事業者参加によって、環境の質を高める環境施策の増強
- 区民・事業者と区との連携を実現化していくためのしくみづくり
(本店をエコギャラリーとした、地域支店を配置し、各地域の活動拠点としていく)
- 区の部門ごとに、環境関連分野での連携を図る。例えば、「3R 活動関連」「公園緑地での生物多様性関連」「省エネルギー対策関連」「学校教育活動関連」など、区の様々な部局で環境関連への参画を求めていく

